

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所キラキラ			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日		～	R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R7年 3月 31日		～	R7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・空間が比較的狭いからこそスタッフの目が行き届きやすく、普段と違う様子の児童がいた際にすぐに気づくことが出来る。 ・一人一人の児童とスタッフが関わる時間が多くとれる。	・児童に数歩で駆けつけることが出来る位置にスタッフがいること。 ・児童の声掛けを聞き洩らさずに、すぐに返答できないときはその旨を伝えて必ず後で声をかけなおすこと。	児童と児童をつなぐことが出来るよう、遊びの雰囲気を作り、その輪の中で遊び方や友達との関わり方、思考力、判断力を養っていく。
2	様々な難易度、種類の創作活動の用意があり、落ち着いた活動を好む児童も楽しんで来所を続けることが出来る。	季節に応じた題材を用意している。 創作活動のテーマを一つに絞らないことで、個々の希望に他疏黄出来る。	苦手意識がある児童でも取り組みたくなるような雰囲気づくりと難易度の調整ができる題材を用意していく。
3	近隣には走り回ることのできる広い公園、遊具がたくさんある公園、景色の良い公園があるため、その日の児童の様子次第で活動を臨機応変に対応することが出来る。	創作活動に使えそうな材料を公園に探しに行くことで、その際に体を動かす機会を設けている。	雨の日でも公園に出かけた時と同じぐらいに体を動かせる活動を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	キラキラで実施している活動の詳細や、普段の情報共有が送迎時や何かあった時の電話がメインである。	ホームページでの情報発信や更新の有無を十分につたえられていないため。また、保護者会や保護者参観の機会を設けることが出来ていないため。	ホームページを有効活用し、より情報を発信することが出来るように努めます。また、年間に何回か保護者会を開催することで、現在のキラキラの状態を伝えるとともに、保護者の方たちで意見を交換し合う機会を設けられるよう検討します。
2	静かな遊びをしたい児童と賑やかに友達と過ごしたい児童、それぞれのスペースを確保すること。	・スタッフと児童が1対1で関わる時間が少なくなってきた。 ・事業所として大切にしているルールやマナーを伝えきれていないため。	児童一人一人と単に活動を共にしたり遊ぶのではなく、キラキラという空間の中ではどのように過ごすことが自分以外の人たちと過ごすうえで大切なかを伝えていく。
3	・事業所内での体を動かす活動が難しいこと。	創作活動やその他必要な物品が増えてスペースが埋まってしまっているため。	晴れの日には近隣の公園に出て体を動かす時間を設ける。また雨の日には座ったままでもできる風船バレーやキャッチボール、ストレッチや筋トレなど計画して提案する。